

令和六年度 入学式 式辞

桜は満開となり、中庭の木々に新たな芽が伸びようとする春爛漫の今日の佳き日に、多くの保護者の皆様のご臨席を賜り、ここに大阪府立牧野高等学校令和六年度入学式を挙行できますことは誠に慶びに堪えません。

只今入学を許可されました牧野高校第四十九期生二八〇名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。牧野高校を代表して、皆さんの入学を心から歓迎いたします。皆さんは入学者選抜試験を見事に突破し、めでたく入学することができました。これからはじまる高校生活への期待に胸を膨らませ、将来に大きな夢を抱いていることと思います。ただ、この日を迎えることができたのは、皆さんの努力の成果であることは言うまでもありませんが、これまで皆さんを、時には優しく見守り、時には厳しく指導してくださった保護者をはじめ、御家族の皆様、小学校、中学校の先生方など、多くの方々のお支えがあったからです。

このことをしつかりと心にとめ、「感謝の気持ち」をいつまでも忘れないでほしいと思います。

一方で、牧野高校入学という夢をかなえることができなかつた人たちがいることも忘れてはいけません。

さて、保護者の皆様、お子様の牧野高校へのご入学、誠におめでとうございます。心からお慶び申し上げます。本日、このように牧野高校の制服を着られたお子様の姿に、さぞや感慨深いものがあるかと思えます。

お子様は、牧野高校の第四十九期生として、本日、その第一歩を踏み出します。来年創立五十周年を迎える本校は、昭和五十一年（一九七六年）の開校以来、地域の皆さまに支えられ、生徒の自主性を育み、学力を強化するとともに、学校行事や部活動等に活発に取り組むという校風を確立してきました。そして、今年の春、国公立大学への合格者を三十名以上輩出するなど、進学校としての評価を得て、皆さまの期待にも応えてきました。第四十九期生の皆さん、皆さんもこの良き伝統を受け継ぎ、皆さんの後輩、次年度以降の新入生にも、しっかりと繋いでいってほしいと思います。

そのために、本校で高校生活を始められる皆さんに、必要なことを三つお話しいたします。まずは、「学習する習慣を定着させる」ということです。高校の授業は、学ぶ量や内容が中学校とは比較にならないほど増え、難しくなります。その日学習したことをベースに次の授業が始まります。学習してきたことが幾重にも積み重なり、より高度な内容を学習していきます。同じところに立ち止まることもありません。ですので日々の授業を大切にし、学習する習慣を定着する必要があります。

「予習・授業・復習」という毎日の学習習慣をしっかりと身に付けてください。初めは簡単でないかもしれませんが、習慣が定着すれば、継続することとは難しくありません。この習慣が定着しているか否かが、皆さんの将来に大きな影響をもたらすことになります。

二つめは「考えるプロセスを大事にする」ということです。難しい場面に差し掛かった時、誰かが見つけてきた方法を安易に模倣し次に進むのではなく、自分たちでどうすればよいかを考え、チャレンジし、失敗すれば、なぜ失敗したのか、成功するためにはどうすればよかったのかを追求し、再びチャレンジするということを繰り返してほしいと思います。

失敗すると、私たちはがっかりし、落ち込みます。でもそれは、次に高く飛躍するチャンスだとも言えます。私たちは失敗経験を重ねることによって、考える力、感性を養っています。私はこの感性が今ある知識を更新し、新たな価値、技術を生み、新しいものを創造すると思っています。ですので「考えるプロセス」を繰り返し、成功するまでチャレンジしてほしいと思います。

三つめは「様々な価値観にふれる」ということです。皆さんはこれまでどちらかと言えば、家族、小学校区、中学校区といった守られたコミュニティの中で生活し、育ってきたと思います。皆さんの中には、親や先生といった周囲の人たちが「敷いたレール」に沿って、進んできた人もいます。しかし、どこまでもレールが敷かれていくわけではありません。これから自分で行先、目標を定め、試行錯誤を繰り返し、自分の力、自己責任で目標を達成しなければなりません。

その中で、多くの人との出会いは大きな支えになります。出身中学校が異なる同級生や先輩、担任や各教科の先生など多くの出会いから、自分とは異なる様々な考え方や価値観に触れ、笑ったり、泣いたり、議論したり、励ましあったりしながらお互い切磋琢磨し、自分を成長させてほしいと思います。

以上の三つを意識して、これからの学習や学校行事、部活動等に取り組んでほしいと思います。くじけそうになったら、牧野高校に合格した時の感激の気持ち、感謝の気持ちを出し、牧高生としての誇りを持って、有意義で実りある高校生活を送ってほしいと思います。

最後に保護者の皆様にお話しを申し上げます。大切なお子様を、本日より本校の生徒として確かにお預かりいたします。今の時代は、学歴でその後の安泰な人生や、生活が保障される時代ではありません。自ら探究、行動する力、すなわち本物の学力を身につけることこそが、これからの時代を生き抜く鍵になると私は思います。しかし、この学力を学校の授業だけで身に付けることはできません。先ほどお話しましたが、高校で学力をつけるには、学校での日々の授業とともに、家庭での日々の学習が大事になってきます。

ご家庭での学習時間の確保と、規則的な毎日の良い習慣の定着にご協力いただければ有難く存じます。また高校三年間の成長過程では、中学校までとは違う事柄が様々に出てくると思います。どうかお子様どうしがお互いの個性を尊重し、切磋琢磨することを寛容な精神で見守っていただきたいと思います。

本校で学んだ生徒の皆さんが、将来社会で活躍できるよう、三年間で大いなる成長をめざして、教職員が力をあわせ指導に当たる所存でございます。

保護者の皆様におかれましても、保護者の皆様どうしが、同じ牧野高校の仲間として、お互いにお付き合いをいただけたら幸いに存じます。より良い学校教育には、家庭と学校との緊密な連携と相互理解は不可欠です。本校の運営につきまして、ご理解とご協力をお願い申し上げます、式辞といたします。本日はご入学、誠におめでとうございます。

令和六年四月八日

大阪府立牧野高等学校

校長 高松 智